



Better Health, Brighter Future

会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー
(コード番号 4502 東証プライム市場)

News Release

2024年2月1日

2023年度第3四半期業績を公表

成長製品・新製品が力強く牽引し、通期マネジメントガイダンス達成に向けて想定通りに推移

- 2023年度第3四半期、米国食品医薬品局(FDA)より2製品(治療歴を有する転移性大腸がんの成人患者さんに対するFRUZAQLAと超希少な血液凝固障害である先天性血栓性血小板減少性紫斑病(cTTP)に対するADZYNMA)の承認を取得
- 既存ポートフォリオの価値を最大化する事業の力強い進展
 - 潰瘍性大腸炎治療剤 ENTYVIO® Pen が米国で発売; 米国FDAにて審査中のクローン病適応追加承認申請は2024年度早期に承認可否が決定する見通し
 - デング熱ワクチン QDENGAR®は21カ国で発売
 - 中国における移植後の難治性のサイトメガロウイルス(CMV)感染症に対するLIVTENCITY®の承認取得
- 売上収益は、実勢レート(AER: Actual Exchange Rate)ベースで+4.6%、恒常為替レート(CER: Constant Exchange Rate)ベースで横ばい
- Core 営業利益は前年同期比12.7%の減益(CERベース)。後発品参入による影響、新型コロナウイルスワクチンの減収、研究開発およびデータ・デジタル&テクノロジーへの投資の増加を反映
- ライフ・サイクル・マネジメントの観点からのHYQVIA®とGAMMAGARD LIQUID®の1月での承認取得が、成長製品・新製品のさらなる成長を後押し
- 通期マネジメントガイダンスに変更なし

武田薬品工業株式会社(TSE:4502/NYSE:TAK)は、本日、2023年度第3四半期累計(2023年4月1日~2023年12月31日)の業績を公表しましたのでお知らせします。成長製品・新製品(CERベースで+12.7%)が力強く牽引し、後発品参入による影響を相殺しており、2023年度の通期マネジメントガイダンス達成に向けて想定通りに推移しています。

当社チーフ フィナンシャル オフィサーのコスタ・サルコウス(Costa Saroukos)は次のように述べています。

「2023年度第3四半期に、当社は、革新的な医薬品を創出し、患者さんにお届けするというビジョン達成に向けた取り組みをさらに推し進めました。米国FDAより2つの製品に対する承認を取得したほか、

成長製品・新製品における適応拡大をはじめ、ライフ・サイクル・マネジメントの観点から計画していた複数の承認取得により、新たな治療選択肢をお届けできるようになりました。

Core 財務指標の CER ベースでの増減率である通期マネジメントガイダンスの達成に向けて想定通りに進展しています。これは、当社が後発品の参入、新型コロナウイルスワクチンの減収、長期的な競争優位性確保のための研究開発およびデータ・デジタル&テクノロジーへの投資拡大による影響を受けつつも、引き続き、成長製品・新製品による力強い牽引があることを反映しています。

当社では、負債残高の 100%が足元で加重平均 1.6%の固定金利であり、負債プロファイルの改善を継続して図っています。2023 年度第 4 四半期に入って以降も、強固な財務基盤を維持しています。」

財務ハイライト

2023 年度第 3 四半期累計連結業績(4-12 月)

(億円、EPS を除く)	財務ベース		Core ベース ^(c) (IFRS に非準拠) ^(a)		
	2023 年度 第 3 四半期 累計	対前年同期 (AER ベース の増減率)	2023 年度 第 3 四半期 累計	対前年同期 (AER ベース の増減率)	対前年同期 (CER ベース の増減率 ^(d))
売上収益	32,129	+4.6%	32,129	+4.6%	+0.0%
営業利益	2,241	△44.2%	8,656	△9.3%	△12.7%
営業利益率	7.0%	△6.1pp	26.9%	△4.1pp	
当期利益	1,471	△48.6%	6,436	△9.0%	△12.2%
EPS(円)	94	△48.9%	412	△9.7%	△12.9%
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,378	△36.0%			
フリー・キャッシュ・フロー(IFRS に非準拠) ^{(a)(b)}	363	△93.8%			

a) 当社の IFRS に準拠しない財務指標のさらなる詳細については当社ホームページをご参照ください。

<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>

b) 当社のフリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得、無形資産の取得、投資の取得及び即時的または一般的な業務用で使用できないいかなるその他の現金を控除し、有形固定資産の売却による収入、投資や事業の売却による収入、売却による現金及び売却した現金同等物の純額を加算し、調整しています。

c) Core ベースの業績は、IFRS に準拠して算出される財務ベースの業績から、無形資産償却費および減損損失、その他の営業収益および営業費用、非定常的な事象に基づく影響、企業結合会計による影響や関連費用など、本業に起因しない(非中核)事象による影響を、各勘定科目に該当する範囲で調整して算出されます。

d) CER (Constant Exchange Rate: 恒常為替レート) ベースの増減は、当期の財務ベースの業績もしくは Core 業績について、前年同期に適用した為替レートをを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。

2023 年度の見通し

通期マネジメントガイダンスの達成に向けて想定通りに推移

(億円、EPS を除く)	2023 年度 業績予想 (2023 年 10 月から修正なし)	2023 年度 マネジメントガイダンス Core 増減率 (CER ベース) (IFRS 非準拠) (2023 年 5 月から修正なし)
売上収益	39,800	
Core 売上収益	39,800	一桁台前半%の減少
財務ベース営業利益	2,250	
Core 営業利益	10,150	10%台前半の減少
当期利益	930	
財務ベース EPS (円)	59	
Core EPS (円)	447	20%台前半の減少
フリー・キャッシュ・フロー*	4,000-5,000	
1 株当たりの年間配当 (円)	188	

(*)フリー・キャッシュ・フローの予想には、Nimbus 社からの TAK-279 の取得および HUTCHMED 社からの FRUZAQLA (フルキンチニブ) のライセンス権の取得を反映しています。

第 3 四半期業績に関する情報について

当社の 2023 年度第 3 四半期業績ならびに 2023 年度通期業績予想とマネジメントガイダンスの前提条件を含むその他の財務情報の詳細については、こちらをご覧ください。

<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>

当社の 5 つの主要なビジネスエリアに関する業績およびパイプラインのアップデートについては、こちらをご覧ください。 https://takeda.info/qr2023_q3_qfr_jp

< 武田薬品について >

武田薬品工業株式会社 (TSE: 4502/NYSE: TAK) は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約80の国と地域で活動しています。

詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

< 問い合わせ先 >

< 投資家関係問い合わせ先 >

Christopher O'Reilly
クリストファー・オライリー
Christopher.oreilly@takeda.com
+81 (0) 3-3278-2543

< 報道関係問い合わせ先 >

完戸(シシド) 綾
aya.shishido@takeda.com
+81 (0) 70-2819-9041
本多 祥子
shoko.honda@takeda.com
+81 (0) 70-2687-3620

< 重要な注意事項 >

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースにおいて武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類、並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国1933年証券法に基づく登録又は登録免除の要件に従い行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性がございます。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社(we, us および our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本ニュースリリースに記載されている製品名は、武田薬品または各所有者の商標または登録商標です。

<将来に関する見通し情報>

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」などの用語、若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI(買収後の統合活動)の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/>)又はwww.sec.govにおいて閲覧可能な米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は当社が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

<財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標>

武田薬品の財務諸表は、国際会計基準(以下、「IFRS」)に基づいて作成されております。

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益、Core EPS、CER(Constant Exchange Rate: 恒常為替レート)ベースの増減、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社経営陣は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本ニュースリリースに含まれるIFRSに準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も良く対応するIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コストおよびキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標を提供することで、当社経営陣は、投資家の皆様に対し、武田薬品の経営状況及びCore業績の更なる分析のための為替変動の影響を含む付加的な情報を提供したいと考えております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません(IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります)。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。当社のIFRSに準拠しな

い財務指標に関する詳細及びこれらに最も良く対応する IFRS 準拠財務指標については、当社の 2023 年度第 3 四半期決算説明会プレゼンテーション資料(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>)の末尾にある appendix をご参照ください。

医療情報

本ニュースリリースには、製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

タケダの成長製品・新製品の定義については当社の 2023 年度第 3 四半期決算説明会プレゼンテーション資料(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>)のスライド 17 をご参照ください。

###